【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【公表番号】特表2009-510435(P2009-510435A)
【公表日】平成21年3月12日(2009.3.12)
【年通号数】公開・登録公報2009-010
【出願番号】特願2008-533424(P2008-533424)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ　30/46　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　15/00　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　30/88　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ　30/46　Ａ
Ｂ０１Ｄ　15/00　１０１Ａ
Ｇ０１Ｎ　30/88　２０１Ｙ
Ｇ０１Ｎ　30/88　Ｊ

【手続補正書】
【提出日】平成21年9月16日(2009.9.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
標的分子を混合物溶液から連続的に分離する単一パス法であって、
複数のフィルターカートリッジモジュールを含む疑似移動床装置を用意するステップと、
ここで、前記各フィルターカートリッジモジュールは多孔性基板層の上流側の固定相微粒子の体積を含み、前記固定相微粒子の体積は１センチメートル未満の床高さを有し、前記各フィルターカートリッジモジュールは、フィルターカートリッジモジュール入口とフィルターカートリッジモジュール出口とを有し、前記複数のフィルターカートリッジモジュールは直列に流体接続される；
標的分子を含む混合物溶液を、前記複数のフィルターカートリッジモジュールを通して連続的に流すステップと；
標的分子：固定相微粒子の生成物を生成させるために前記標的分子を前記固定相微粒子の体積に結合させるステップと；
前記標的分子：前記固定相微粒子の生成物を含む充填されたフィルターカートリッジモジュール通る前記混合物溶液の流れを中断するステップと；
単離された標的分子の生成物および再生されたフィルターカートリッジを生成させるために、前記充填されたフィルターカートリッジからの前記標的分子：固定相微粒子の生成物から前記標的分子を分離するステップと；
前記再生されたフィルターカートリッジモジュールを通して前記混合物溶液の流れを再び運ぶステップと
を含む方法。
【請求項２】
前記混合物溶液が、各フィルターカートリッジモジュールにおいて、１リットルの固定相微粒子当たり少なくとも３リットル／分の速度で、各フィルターカートリッジを通って

流れ、各フィルターカートリッジが、前記フィルターカートリッジモジュール入口から前記フィルターカートリッジモジュール出口まで、３４ｋＰａ（５ｐｓｉ）以下の圧力損失を有する請求項１に記載の方法。

【請求項３】

混合物溶液から標的分子を連続的に分離するための単一パス疑似移動床装置であって、

最初の充填されたフィルターカートリッジモジュールおよび最後の再生されたフィルターカートリッジモジュールを含み直列に接続された複数のフィルターカートリッジモジュールを含む捕捉ゾーンと、

ここで、前記最初の充填されたフィルターカートリッジモジュールは、混合物溶液の供給源に接続され、前記最後の再生されたフィルターカートリッジモジュールは、標的分子が枯渇した混合物溶液の容器に接続され、前記各フィルターカートリッジモジュールは、１センチメートル未満の床高さを有する固定相微粒子の体積を含み、そして多孔性基板層の上流側の標的分子と結合可能であり、各フィルターカートリッジが、フィルターカートリッジモジュール入口とフィルターカートリッジモジュール出口とを有し、そして前記フィルターカートリッジモジュール出口が、続く下流のフィルターカートリッジモジュールのフィルターカートリッジモジュール入口に接続されている；

充填されたフィルターカートリッジモジュール内の前記標的分子が、再生されたフィルターカートリッジモジュールを生成させるために固定相微粒子の前記体積から分離される回収ゾーンと、

ここで前記回収ゾーンは少なくとも１つのフィルターカートリッジモジュールを含む、

前記各第一のフィルターカートリッジモジュールが、前記補足ゾーンから前記回収ゾーンに動き、そして前記補足ゾーンに戻って、前記各最後のフィルターカートリッジモジュールを形成することを可能にする弁手段と、

を含む装置。

【請求項４】

前記複数のフィルターカートリッジモジュールが、前記最初の充填されたフィルターカートリッジモジュールと前記最後の再生されたフィルターカートリッジモジュールとの間で直列に接続された１つ以上の中間フィルターカートリッジモジュールをさらに含む請求項３に記載の単一パス疑似移動床装置。